平成１６年　８月　第２２１号　　毎月発行　大代地区全戸　配布

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会　　事務局：大代地区公民館　☎ 364-8442

あいさつは心のふれあい　出会った人と　あいさつしましょう

自然観察教室に参加して

大代西　佐藤　甚六

去る七月四日（日）大代地区公民館主催による、山形県天童高原の夏山自然観察教室に、総勢四十三名の一員として参加した。

心配された天候は、幸いに早朝から好天に恵まれ七時三十分に出発した。

行きの車中では、バスガイドさんの迷スピーチよろしく快適なバスの旅であり、九時三十分に目的地の高原ロッジに到着した。

少し休憩した後、いよいよ自然観察の始まりだ。山形県の文化財保護委員として活動されている先生にガイドボランティアをお引き受け頂き、自然環境が豊かに残っている天童高原の森林の植生を現地でわかり易く、熱心に説明を受けた。特に、普段から目にしている樹木が、雪深い日本海側では枝折れしないのには驚いた。雑木林、からまつ林、杉林をとおり抜けるまでは、夏の太陽も深い樹木にさえぎられ、高原特有の涼しさが感じられた。

しばらく歩いて林を抜けると、広々とした牧場があり視界が一面に開けて、盆地特有の太陽の照りつけが激しくなって、下山途中汗だくの夏山ウオーキングを体験した。全行程五・六キロを一人の落伍者もなく、休憩地（鳥海山、月山、葉山連峰が一望の地。）にたどり着き樹齢五百年にもなろうかと思われる松の大木の木陰の下で休憩していると、天童市長から思いがけなく、そしてタイミング良く、プレゼントされた名産の大変おいしいラフランスアイスクリームに舌鼓を打つ。

休憩地からバスでロッジに戻り、昼食は〝高原そば道場〟で、高原で収穫されたそばをいただき各自くつろぐ。

帰路には山形県物産館に立ち寄り、それぞれ土産品を手にしながら四時三十分に無事到着した。

帰りの車中では、バスガイドさんから、花見の季節に桜の花びらが白く見える年は豊作になり、ピンク色に見える年は不作になると古くから言い伝えられているとのことであり、小生もこの歳になって初めて耳にした。幸いに今年の花びらは白かったそうなので、果たして的中するかどうか？

この話もいい収穫となり、極めて意義ある教室であった。

最後に、この企画を運営された伊藤館長を始め公民館職員、そしてボランティアの佐藤先生大変お世話になりました。

大代地区流灯・花火大会

大代五区区長会　小野　菊郎

皆様には、日頃何かとご協力賜り厚く御礼申し上げます。

大代地区恒例の流灯・花火大会を下記により開催いたします。

これは、水難物故者供養及び大代地区内の平穏な生活を祈念し、慰霊祭として行うものです。皆様のご焼香を心からお待ち致しております。

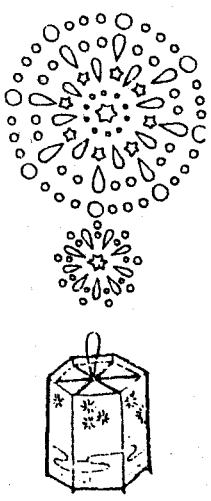
なお、花火の打ち上げを同時に行いますので、是非ご覧いただきまして、納涼のひとときをお過ごし下さいますようご案内申し上げます。

☆期　日　平成十六年八月二十日（金）
荒天の場合には、延期等について防災拡声装置で放送案内いたします。

☆場　所　橋本橋西側たもと

☆時　間
一　慰霊祭　午後六時三十分から
一　流　灯　午後七時から
一　花火打ち上げ　午後七時から
一　終了　午後八時

※　天候の関係で、流灯・花火打ち上げ時間を変更する場合があります。



短歌

大代南　本郷　貞子

ピラカンサ梅雨の中間の月影に
銀細工の如くその白き花

大代西　小倉　紀美子

梅雨前の陽を浴びツツジの剪定を
ことなく終えて来年を期す

大代西　佐藤　あさよ

すくすくとハウスに育つ茄子の苗
移植をせんと雨の日を待つ

文芸短評

大代西　藤田遊子

『夏近しこんな隅っこにまで風』

神野沙希（こうのさき）

平成十三年度列島縦断ＮＨＫ俳句スペシャルで特選。鋭いセンスで近づく夏を捉えた。〈こんな隅っこ〉はありふれた言葉であるが大きな発見。〈風〉の名詞止めでこの句を確定した。絶賛。高三。現在大学三年生。才能が認められ、四月からＮＨＫ俳句王国の司会者に抜擢。新鮮な司会ぶりが列島を縦断する。子規の故郷松山市にお棲まい。

『炎昼や人影絶ゆる石畳』　遊子

俳句

大代西　松浦　富男

松蔭に大茲大非の地蔵尊
梅雨最中一期一会の座に酔いぬ
巴里祭妻の着物の裾さばき
蛍去り三年の闇の深さかな
紫陽花の千紫万紅昼さがり

笠神西　本郷　勝子

境内に白い風呼ぶ沙羅の花
お遍路の心つぶやき梅雨の日々
暮れなずむ浜辺に立ちて六月尽
風につれ繊細なまで糸とんぼ
水の面に影を落として糸とんぼ

ご祝儀　お見舞いは　三千円を限度にし　お返し物はしないようにお互い気を配りましょう

納涼祭り

夏まつり

祭　祭

★大代各区の盆踊り・夏祭りの予定は、次のとおりとなっております。

大代東・盆踊八月七日石ケ森公園（区）
雨天時八月八日

大代中・盆踊七月三十一日。
大代公民館（区）

大代北・盆踊八月七日　大代北公園
（区・育成会）

大代南・盆踊八月八日　大和マンション前広場（区）
雨天時八月九日

【シャドウボックス教室】

！受講者募集！

◆期　日　平成十六年九月～十二月
（全六回、金曜日）

◆日　程　九月十日・十月八日
十月二十二日・十一月五日
十一月十九日・十二月三日

◆時　間　午後一時三十分～三時三十分

◆場　所　大代地区公民館
材料費（実費負担）

申込み方法

☆八月十二日（木）から大代公民館へ来館の上、直接お申し込み下さい。電話での受付はいたしません。

☆対　象　一般（二十名）定員になり次第締め切らせていただきます。

日本への帰路（No.二十六）

大代南　後藤　清一

シベリヤの短い夏も終わりを告げ、九月入れば夜明けも又夕暮れも早まり冬の気配は着実に感ずる。下旬ともなれば水も地面も空気も冷たく、やがて凍結となる恐ろしい厳冬がくる。

二〇二〇の病院を意味の解らぬまま、永く一緒した友と惜別の挨拶もそこそこにトラックに積みこまれ、なんの為の移動か不安な別れとなった。

夕暮れの迫る山奥の小さな駅は、合流した我々二阡名の同胞で大混雑となったが、不思議と知人は一人もいなかった。しばらくして初めてダモイと聞き、涙を流して飛び上がって喜んだ。思えばアムール洲、ハバロフスク洲と各地のラーゲルを転々と移り、三重苦に悩まされ、銃口は何時も俺達に向けられ常に死に怯え明日は我が身かと、やけくそに荒んだ四年前の生活が鮮明に蘇える。今は、そんなすべてのものから解放されるのだ。やがて我々をつめこんだ帰還列車は静かに動きだした。二度とこんな所を訪れる事もあるまい。絶対来たくないとの思いだが、何か意味もなく淋しかった。大分の時間を走ったようだ。どの辺かとふっと立ち上がり、小窓にすり寄り外を見ると、いつのまにかベリヤ本線上を走っていた。列車は明らかに東に向かっている。前の方から明るくなり今日も快晴のようだ。狭くて暗い悪臭と家畜輸送車さながらの密室の中で何人かが死んでいった。だが皆は、祖国へ帰れる安堵感感からか明るくはしゃぐ者もいた。列車は停まったり動いたりを繰り返し走る。車内の食事は黒パン三百グラムだけ、それでもきついノルマの作業がないだけずっと楽だ。

時々の停車で降りて、用便ができるのも嬉しかった。此処はどこなんだ。まもなくハバロフスクだろう。そこまで行けば船が待つナホトカまで一日か二日の距離だ。船と聞けば皆の心は最高に弾んだ。外は夕暮れになっていた。

列車は急に停まった。「なんだどうしたんだ。」皆がそう話しかけた時、鉄の扉が開かれ外気が入ってくる。同時にソ連の将校が二人通訳と共に入ってくる。何事だ。皆はひどい緊張で一言もない。将校は凄い形相で車内をみつめ、「皆の者正直に答えろ。この中に岩田と云う奴はいないか。いたら前にでろ。」眼つきがすごくきつい。何があったのだ。通訳がそっと語ってくれた。スパイ容疑だとか。

「ウソがばれたら、〃お前ら全員収容所に逆戻りだぞ〃それに懲罰だとみ境なく俺達の尻をけとばしながら……。」

精神的疲れはこうして

大代東　本郷　新治

めまぐるしく変動する現代に生きていて、精神的な疲れを感じない人は、おそらく一人もいないと思います。私達の日常生活や仕事の中には、イライラさせられることは山ほどあるし、いやな事がたくさんあります。ストレスが生じるのは当たり前のことですが、ストレスなしですむにこしたことはありません。対人関係を円滑にしようと努力しても、それでも疲れは残るものです。

そこで、如何に疲れをとるかが重要となります。外向性の性格の人、や若い人に適した精神的な疲れのとり方についてお話をします。私達が満足感や心の落ちつきを感じるのは、思う事を思う存分やり告げたときとか、仕事やスポーツを精一杯した時です。また怒りたいだけ怒った時にも気持は爽快になります。ストレスを解消させるのに一番大切なことは、感情を押さえずに大いに発散させることです。つまりエネルギーを消耗させることが、ストレスやノイローゼを直す特効薬だと思います。　心の中で悩みつづけるよりは、自分の好きな事に我を忘れ、夢中になって打ち込むことが大事であると思います。好きなスポーツを楽しむとか、趣味に興じるといった方法が非常に効果的です。明るい毎日を過ごすためにも、皆さんそれぞれ思考をこらしてはいかがでしょうか。